The 健康応援隊！

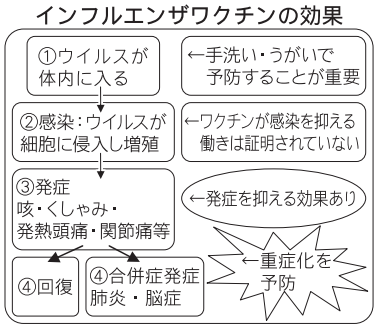
インフルエンザ みんなで知って、みんなで注意!!

平成21年度に発生した「新型インフルエンザ」は、平成23年4月以降、「インフルエンザ（H1N1）2009」へ名称が変更となりました。新型インフルエンザワクチン接種や、実際にかかったことにより、多くの人が免疫を獲得し、通常の季節性インフルエンザと異なる大きな流行等がみられなかったことから、通常の季節性インフルエンザとして対応することになりました。

町でも、昨年10月から高齢者や身体障害者手帳をお持ちの方等を対象にインフルエンザの予防接種に対し、助成をしているところです。インフルエンザは例年12月から3月に流行しておりますので、早めのワクチン接種をお勧めします。

さて、「予防接種を受けたのにインフルエンザにかかってしまった」という話を聞くことがあります。インフルエンザにかかるとはどういうことなのか、ワクチンの効果を説明します。

インフルエンザワクチンの効果



以上のようにインフルエンザワクチンは打てば絶対にかからない、というものではありませんが、例えかかっても病気が重くなることを防いでくれます。（報告によると、65歳未満の健常成人で、70～90％の発症予防効果があったとしています）

インフルエンザワクチンの予防効果は接種した2週間後から5カ月程度と考えられています。このため予防に十分な免疫を保つためには今年度もワクチン接種を受けることが望ましいでしょう。

（健康福祉課　保健師）

学校コーナー

「楽しさいっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい 花いっぱいの学校に」

五霞東小学校

〈緑の少年団活動を通して思ったこと〉

「自然の大切さ」

6年　下田　拓哉

ぼくの通っている学校は、緑がいっぱいで花もたくさん咲いています。また、春・夏・秋・冬にかけて、いろいろな活動や行事があります。

一つ目は、春と秋に行われる、「一人一プランター運動」です。ぼくは、花が大好きなので、この運動を楽しみにしています。プランターには、サルビア・マリーゴールドなどの花を植えます。きれいに早く咲かないかなと思いながら植えています。

二つ目は、夏休みに行われる水あげ当番です。その日の当番が、水あげに行って草取りもします。草もなくなって、きれいに咲く花を見て、がんばって水をあげてよかったなあと思いました。

三つ目は、一年間の中で最も楽しみにしている「ケヤキ祭り」です。ケヤキ祭りは、五霞東小のシンボル「ケヤキ太郎」という学校の中心に立っているケヤキの木が植えられた日をお祝いする行事です。地域の方も参加してバザーを開いてくれます。児童も、お店を開いてケヤキ太郎を祝います。ケヤキ太郎の歌もあります。大きなケヤキの木の下での活動は、すごく楽しいです。

四つ目は、夏の前と冬の前に行います。その活動は、プランターに咲いていた花を出す作業です。その時はちょっとさみしい気持ちですが、春には、また花が咲いたらいいなあと思います。冬には、ケヤキ太郎も葉を落とし、みんなで葉をはき集めます。たくさんの落ち葉を集めると、すごくきれいになります。葉のない木から、また新しい葉が出てくるのを想像すると、すごく春がまちどおしくなります。その一年のくり返しが五霞東小での生活であり、楽しみでもあります。

緑の少年団活動をして思ったことは、緑は、自分たちが守っていかないとだめだと思いました。道路やビルなどを作るため、草や木がかられていますが、もっと考えて、自然を大切にしてほしいと思います。

これからは、もっときれいに花を咲かせて、自然を大切にする気持ちを忘れずに活動していきたいと思います。

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
●町長（直通）
FAX(84)1550
●総務課広報担当
☎(84)1111（内線227）

1月の納税　納期限：1月31日(火)です

国民健康保険税	7	期	町民税務課　税務G　内線253
後期高齢者医療保険料	7	期	町民税務課　税務G　内線251
学校給食費	10	期	教育委員会　学校教育G　☎(84)1462
保育料	1	月分	健康福祉課　社会福祉G　内線237

人口と世帯（12月1日現在）

総人口	9,403人	(−14)
男	4,716人	(−6)
女	4,687人	(−8)
世帯数	3,097世帯	(+2)

※（　）内は前月比